

 <p>開校明治七年 開校147年目</p>	<h1>宗岡小だより</h1> <p>学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 心も体も元気な子</p>	めざす学校像 「子供達一人一人の居場所があり、輝ける学校」 「安全・安心できれいな学校」	7月の生活目標 学校の決まりを ふりかえろう ・一学期のまとめ をしよう ・宗小のきまりの 反省をしよう
		令和3年7月号 志木市立宗岡小学校 児童数 451名・学級数 18学級 住所 志木市中宗岡3-1-1 TEL 048-471-0307	
基本理念「自分がすき 友だちがすき 町がすきな 宗小の子」			

「振り返り」を大切に

校長 石田 賢一

いよいよ1学期もまとめの7月を迎えました。暑い日が続いていますが、子供達は元気に学校生活を送っています。

6月15日に宗二中学区CS連絡協議会総会が2年ぶりに開催されました。昨年度は新型コロナウイルスの影響で開催を中止しましたが、今年度は宗岡第二中、宗岡第三小、宗岡小の学校運営協議会会長、PTA会長、校長と参加人数を絞り開催しました。総会では、宗二中学区における育てる子供像について「地域を愛し、誇りを持って、地域に貢献する子供」とすることを確認しました。また、新型コロナ禍での子供達がどのように地域に貢献することができるかを参加者全員で協議しました。今後も宗岡第二中、宗岡第三小、宗岡小の3校で連携を図りながら、子供達の健全な育成と地域への貢献を推進するために取り組んでまいります。詳細は、今後宗岡小学校HPにアップしますので、是非ご覧ください。



さて、今月の生活目標は「学校の決まりをふりかえろう」です。「振り返り」ことは、とても大切なことです。「振り返り」とは、自身の言動を客観的に捉え、改善点を検討し、その改善点を実行することで。英語では、リフレクション (reflection) と呼ばれています。

リフレクションの重要性を世界的にも有名な経営学者であるドラッカーは、「効果的な行動のあとには静かな振り返りを行おう。その静かな振り返りからより効果的な行動がうまれる。」と述べています。子供達の学習に置き換えて考えると、学習効果が発揮されているときには「振り返り」を行うことで、成功している要因を明らかにすることができ、次回からの学習に大いに活用することができます。また、効果が十分に発揮できていないときには、原因を特定したり、改善したりするうえでとても有効となります。「振り返り」を行うことで、子供達が自身の行動を客観的に理解することができ、自身の学習方法を効果的に修正することができるようになります。

ただし、「振り返り」が「反省」になってはいけません。「反省」とは、「どうして失敗したの？」や「今回の失敗の原因は何？」という結果や要因、結果に対しての責任を考えることです。「反省」では、何が悪かったのかは明らかになりますが、次からどうすればよいかを決めるのは難しくなります。「振り返り」とは、自身の行動を一つ一つ検証し、良かった点・悪かった点を考え、よりよい結果を得るためにはどのようなことが必要かを考えることです。

学習指導要領にも「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、問題解決への見通しをもつこと、社会的事象の見方・考え方を働かせ、事象の特色や意味などを考え概念などに関する知識を獲得すること、**学習の過程や成果を振り返り学んだことを活用すること**など、学習の問題を追究・解決する活動の充実を図ること。」と記述されています。本校においても、授業の最後に「振り返り」を行い、子供達の学力向上に取り組んでいるところです。

「振り返り」は、学校における授業のみで行うものでなく、各ご家庭においても実践していただけると幸いです。実践の仕方は、①1日の中で「振り返り」の時間を設定する(10分程度)。②「振り返り」の質問を決めておく。例えば、「どうしたらより効率的/効果的に学びや作業を進められたのか?」、「周りのお友達クラスメートを手伝えるために何を行えたか?」、「今日の自分は自分が大事にしていることを実現できていたのか?より実現するには何が必要だったのか?」といった質問を毎日、子供達に投げかけてみてください。繰り返し、習慣化することで子供達が「振り返り(リフレクション)」する力が付き、自身を向上させる力が付くと思います。各ご家庭でお試してください。